

サマセミ準備会議事録

アイ・あいロビー協働推進部会

- 1、日時 2019年2月7日(木)PM7時～8時30分
2、場所 アイ・あいロビー
3、参加者 新田、前久保、寺下、佐近、藤原、芦田(と)、岡崎、宇野、佐藤、芦田(三)(順不同、敬称略)

4、打合せ内容

① サマセミの開催についての意見

- イ、サマセミおためし版(講座)としては
- ロ、やってみるのは賛成
- ハ、不安が大きい
- ニ、2畳大学のような(講座的に小さな)講座形式でもいいのでは
- ホ、力不足を感じる。もっと大きくなうねりにしたい。
賛同者がもっと多くなければ成功しない。
- ヘ、今後目指す(数年先の)姿を明確にした方が良いのでは

結論 全体的には実行したいとの意見が多く出たので進める事になった

② 実施するには色々決めなければならない

- イ、おためし版(講座)も6～10講座位はしたい。
- ロ、おためし版(講座)で魅力を知ってもらう為には其れなりの準備が必要
- ハ、サマー(夏)は準備、呼掛け等で期間的に難しい
- ニ、賛同者を増やすには時間が必要
- ホ、サマセミのイメージが見えない人がまだまだいる
- ヘ、尼崎は『みんなの尼崎大学』が母体で、そのメンバーが愛知に見学に行き、
実行委員会が出来た。
和泉市も『いずみ市民大学』の学友会メンバーにもっと知ってもらう必要がある。
- ト、コアになる団体やメンバーは、ある程度絞って進める方が良い
- チ、先生役はある程度見込めるが、生徒を集めるには周知時間が必要

結論 イ、準備会(のコアメンバー)として呼掛けるのは下記の通り。

- ロ、準備会で尼崎市のサマセミ見学ツアーを企画し、多くの参加者(各方面の方々に呼掛け)を募り、体感してもらう。
- ハ、ロ、の結果、実行委員会を発足させる。
- ニ、2019年度は12月後半に『おためし版(講座)』を6～10講座予定し、小学校の体育館
or 桃山学院大学の教室で開催を目指す。
- ホ、2020年度の8月に『(仮称)サマセミinIZUMI』を開催を目指す。

提案事項 ① アイ・あいロビーの「事業として取り組めないか」を提案する。

② 2月12日の運営委員会にて、協働推進部会として事業答申し、承認を受ける。

③ 2月14日推進協議会にてアイ・あいロビー事業としての承認を受ける。

問題点は、アイ・あいロビーで事業を行うにあたり、寄付金を募る事が出来るかどうか?

準備会呼び掛け団体

- 桃山大学側(個人or学校)
- いずみ市民大学学友会
- 和泉市青年会議所
- 行政側(個人or職員)

タイムスケジュール

- ① 2/12、2/14にてアイ・あいロビーに提案
- ② 3/9PM1時30分から第二回準備会
- ③ 3月～5月に準備会開催
周知活動及び、おためし版の検討。サマセミ見学会の検討
(日時、場所、講師陣、協賛企業などを決める)
- ④ 6月のいずみ市民大学開校後学友会へ紹介し、8月尼崎サマセミ見学会参加呼掛け
- ⑤ 8月尼崎サマセミ見学会実施
- ⑥ 見学会後、12月『おためし版(講座)』開校に向けての実行委員会発足
- ⑦ 10月の「ちよいず」に応募
- ⑧ 12月『おためし版(講座)』開催
- ⑨ 2010年8月『(仮称)サマセミin IZUMI』開催30～40講座を目指す。
最低5年間は継続する。